

開催報告

未来ビークルリサーチセンター第13回シンポジウム 「電動車両化を加速する電池技術」

未来ビークルリサーチセンター 環境コア
電気・電子工学系 教授 櫻井 庸司

低環境負荷社会実現に向けて、大幅な燃費向上・CO₂ 排出量削減に威力を発揮する高性能二次電池が注目を集めています。このような背景の下、平成22年2月5日に本学において、「電動車両化を加速する電池技術」と題して、未来ビークルリサーチセンター第13回シンポジウムを開催致しました(別添プログラム参照)。

本シンポジウムでは、電動車両として普及が進んでいるハイブリッド車に加えてプラグインハイブリッド車・電気自動車など次世代自動車の現状と将来展望、ならびに、電動車両化を加速するリチウムイオン電池・次世代型空気電池などの新しい電池技術に関して、この分野の第一線でご活躍中の外部講師4名をお招きし、ご講演頂きました。

まず始めに、ハイブリッド車・プラグインハイブリッド車など環境先進電動車両の動向と今後の展望について、日本自動車研究所・荻野氏からお話を伺いました。続いて、電動車両の電池開発経緯・次世代自動車等用二次電池の最新の研究開発状況について、トヨタ自動車・戸島氏、東芝・本多氏にご講演頂くとともに、NTT・林氏に将来型電池としての空気電池の研究状況と今後の展開についてご紹介頂きました。

当日は、学外から130名、学内から22名、計152名の参加者があり、質疑応答においても活発な議論がなされ、盛会のうちに講演会を終了致しました。

末尾ながら、本シンポジウム開催に当たりご協力頂きました関係各位に厚くお礼申し上げます。



日本自動車研究所・荻野氏



トヨタ自動車・戸島氏



東芝・本多氏



NTT・林氏

豊橋技術科学大学 未来ビークルリサーチセンター 第13回シンポジウム

「電動車両化を加速する電池技術」

【概要】

低環境負荷社会実現に向けて、大幅な燃費向上・CO₂排出量削減に威力を発揮する高性能二次電池が注目を集めています。

本シンポジウムでは、電動車両として普及が進んでいるハイブリッド車に加えてプラグインハイブリッド車・電気自動車など次世代自動車の現状と将来展望、ならびに、電動車両化を加速するリチウムイオン電池・次世代型空気電池などの新しい電池技術に関して、この分野の第一線でご活躍中の講師の方々にご講演頂きます。

- 日時： 平成22年2月5日（金）13:00～16:30
- 場所： 豊橋技術科学大学 A2講義棟 A2-201
- 主催：豊橋技術科学大学 未来ビークルリサーチセンター
- 後援：豊橋市、田原市、豊橋商工会議所、田原市商工会
- 協賛：電気化学会電池技術委員会、電気化学会東海支部、電気学会東海支部、IEEE名古屋支部、自動車技術会

【プログラム】

時間	講演タイトル	講演者
13:00 ～13:50	【講演1】 「電動車両の最新動向と今後の展望」	(財)日本自動車研究所 FC・EV研究部 企画・実証グループ 主任研究員 荻野 法一 氏
13:50 ～14:40	【講演2】 「トヨタのHV用2次電池の開発動向」	トヨタ自動車(株) HV材料技術部 エネルギーデバイス室 シニアスタッフエンジニア 戸島 和夫 氏
14:40 ～14:50	休憩	
14:50 ～15:40	【講演3】 「インフラバッテリーとしての二次電池と その二次利用への展望」	(株)東芝 電力流通・産業システム社 二次電池システム技師長 本多 啓三 氏
15:40 ～16:30	【講演4】 「次世代型空気電池の研究状況と今後の展開」	NTT 環境エネルギー研究所 エネルギーシステムプロジェクト エネルギー蓄積変換システムグループ 研究主任 林 政彦 氏

- 参加費： 無料
- 参加申込み切： 平成22年1月29日（金）
- 申込方法： 氏名・所属・連絡先を明記のうえ、E-mailまたはFAXにて下記まで。
- 申込先： 豊橋技術科学大学 未来ビークルリサーチセンター事務室 幸村成恵
E-mail: vrca@ajp.pse.tut.ac.jp , FAX: 0532-44-6722
- 世話人・問合せ先： 豊橋技術科学大学 電気・電子工学系 櫻井庸司
E-mail: sakurai@eee.tut.ac.jp , Tel./FAX: 0532-44-6722